

季節の移り変わりを演出 ～変化する壁画制作～

1月の飾り



2月の飾り



デイサービスセンター星の里 高田 美保

デイサービスセンター星の里では、入り口横の壁面に利用者さんとスタッフが一緒に制作した作品を飾っています。1月は折り紙で破魔矢^{はまや}を作成し、折り紙の絵馬に願い事を書いてもらいました。『いつまでも元気でいられますように』『家族の健康』『コロナウィルスの早い収束』などさまざまな思いが綴られています。絵馬のだるまやうさぎに書きこんだ顔には個性が感じられます。「初詣には行けなかったけどこんなのが自分で作れて嬉しかったよ」「名前を書いたけえ、後で貰えるんかねえ、楽しみじゃねえ」と言われていました。2月の壁画は水仙と梅の花、ホトギスに変わりました。この時も「折り紙の花を持って帰って家に飾りたいわ」と作成中から多くの女性の利用者さんが言われていました。

制作にあたっては、3密を意識して毎日少人数ごとに少しずつ作業を進めていきました。今後も利用者さんからの希望を聞きながら楽しんでいただけるような作品作りの機会を提供していきたいと考えています。

平石理事長が受賞

～第67回中国社会福祉事業功労賞～

当法人の平石朗理事長が、障害者や地域の福祉向上に尽力してきた功績を認められ「第67回中国社会福祉事業功労賞」を受賞しました。2022年11月25日に中国新聞本社ビルで授賞式が行われ、参加しました。



表彰を受ける平石理事長
(中国新聞社提供)

寄付者一覧

(2022年9月～12月 順不同・敬称略)

<寄付金> 永正寺 府中地区労働者福祉協議会 会長 西林弘泰
医療法人ささき小児科医院 鎌田涼介 匿名希望2名
<寄付物品> 佐藤暢洋 岩本光平 高橋光子 青山孝男 延広利之

編集後記

厳しい寒さが続いています。この時期になると、匂の牡蠣が食べたくてきます。今年は小ぶりだと聞いていましたが、寒波の影響で身が締まって大きくプリプリの牡蠣になっているんじゃないかと勝手に期待しています。寒い時期だからこそ出来ることを楽しみながら、毎日のやる気に変えていきたいです。(K.A)

さつき SATSUKI

第76号
令和5年3月

発行 社会福祉法人
尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com
E-mail:hoshinosato@satukikai.com



1箱1,485円(税込)

一粒の形からこだわった、カカオ型バークチョコレートの新発売。自家焙煎をしたカカオ豆の殻を全て手作業で剥く工程から作り上げた、クリアでピュアなチョコレート。乾燥の加減にこだわり、風味を凝縮した爽やかな柑橘がカカオを引き立てる一粒に仕上がりました。

チョコレートの形は、粘土でカカオ豆の形を作り、数ある中からよりおいしく味わえるものを選びました。さまざまな形で「SATSUKI」に関わる人の思いがギュッとつまった一箱です。

尾道さつき作業所 松山 明代

76号の topics

- 特養のICTの活用
- デイサービス壁画作成
- あいあい制作活動
- 中国社会事業功労賞受賞
- シリーズ 新人紹介
- 卒業生に学ぶ現場のリアル
- 法人本部・公益分野
- 高齢者分野
- 障害児・者分野
- シリーズ



尾道福祉専門学校
TikTok



SATSUKI
ONLINE STORE



尾道さつき作業所
Instagram



手織り屋おのみち
Instagram

ICTの活用～見守りシステムで安心と質の高いケアを～

特別養護老人ホーム星の里 村上 佳代

介護業界では、ICTを活用した介護が主流になりつつあります。ICTというのは、例えば、タブレットを使った記録入力やデータの活用、利用者さんを遠隔で見守るシステムなどがあります。

今回、特養で導入したのは見守りシステムです。これは、居室におられる入居者さんのバイタルデータや動きを感知してスマートフォンやパソコンに異常を知らせるものです。今までは介護職員が個別の状態を把握し、予測しながら定期的にお部屋の巡回をしていましたが、体調の変化は突然やってきますし、対応する側の経験の差も影響します。見守りシステムを使用することで、離れていても変化に気付くことができます。

また、睡眠の状態もデータとして確認することができるため、生活リズムを整えるケアのヒントになります。看取り期の見守りとしても細かく状態を確認するために活用しています。まだ、導入は一部ですが、入居者さん、ご家族、職員の安心と質の高いケアに繋がるよう今後も活用していきます。

▼この画面で入居者さんの様子を確認できます



スマートフォンからも確認することができます

パソコンで入居者さんの状況を確認する職員



“お正月飾り作り”を楽しみました!

12月に、季節を感じる作品作りを通して、子どもたちの意欲や自信が膨らむよう、おのみち子育て支援センター元所長の沖村暁美先生(写真2列目右端)を招き、「お正月飾り作り」を楽しみました。子どもたちは、公園で集めた松ぼっくりやどんぐりなどを手にとり、好きなものを選んでいました。「どれにしようかな」「もっと飾ろう!」と出来上がりをイメージしながら、集中して取り組んでいました。また、「どうやってつくろうかな」と悩んでいた子ども、友達の作品を見たり会話を聞きながら、だんだんとイメージが膨らみ、チャレンジする姿が見られました。

大好きな沖村先生と“ハイチーズ!”



活動後の鑑賞会では、オリジナル溢れた作品を前に「ぼくが作ったのを見て!」「みんなのもいいね」と会話が飛び交い、保護者の方からも「すてき!」「玄関に飾ろうね!」と和やかな空気に包まれていました。愛着深い「お正月飾り」を子どもたちは大事そうに持ち帰りました。

新しい年が子どもたちやご家族の皆さまにとって、心豊かな一年になりますように。

児童発達支援センターあいあい
いさか ちひろ
放課後等デイサービス 居阪 千尋



▲お正月飾り作りを集中して取り組む様子

新人職員紹介



わたなべりゅうじ
渡邊 竜児さん

ワークスつき

Q1この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。

憧れがあった尾道で働きたいという思いがあり、転職する事に決めました。尾道さつき会のホームページをみて、介護事業だけでなくさまざまな事業を行っている事を知り、自己の成長につながるのではないかと考え、この仕事に決めました。

Q2 趣味、隠れた特技は?

自動車整備士の資格と経験があるため、自家用車や知人の自動車修理やメンテナンスを行っています。



たかはし よしか
高橋 良佳さん

星の里小規模多機能居宅介護事業所

Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。

大学生の時に福祉について知り、私も誰かを支える仕事がしたいと思い介護の仕事に就きました。働く中で自分の力不足を実感して落ち込むこともありましたが、利用者さんからの感謝の言葉や職場の先輩方のアドバイスを支えられています。これからも日々精進し、利用者さんの心に寄り添える介護士になりたいです。

Q2 趣味、隠れた特技は?

自然が好きなので海や空の写真を撮りに出かけています。事業所から見える朝日や夕焼け空もとても綺麗で感激しました。また、生き物も好きなのでYouTubeなどで生き物についての動画も見ています。

卒業生に学ぶ現場のリアル

～より実践的な教育に向けて～

尾道福祉専門学校 重岡 秀和

本校では、利用者さんに対し最期まで真剣に向き合うことができる介護福祉士になれるよう、日々切磋琢磨し勉強や生活支援技術(入浴・排泄・食事など)の練習に励んでいます。



▲実技試験の監督をしている卒業生



▲実技試験後の結果発表と講評を受ける

生活支援技術を学ぶ授業では、学んだことをより具体的にイメージできるように、卒業生をサポート講師に迎え、基本的技術の指導に加え、施設での経験を伝えてもらっています。現場での体験談を聞く時の学生たちは、いつもより真剣な眼差しで聞き入っています。実技試験の時は、卒業生が試験監督と利用者役を行うことで、学生は緊張感を持って試験に臨むことができ、効果的な教育が実現できていると実感しています。卒業生ということで学生たちも相談しやすいようで、卒業生自身の経験を踏まえながら、生活面においても相談に乗ってもらっています。そんな関わりを通じて、卒業生が働いている施設に興味を持ち、アルバイトや就職につながることもあります。

今後も、卒業生をはじめ、さまざまな方に支えていただきながら、実践的な教育を行っていきたいと思います。